

今月の御教え

「金光様、宗教がたくさんあっていろいろの教えがありますが、死んだら魂はいろいろに分かれるのでしょうか」と伺った。金光様は、「そういうことはありはしない。死んだ者の魂は、天地の間にふうふうと、ぶゆが飛ぶように遊んでいるので、どこへ行くものではない。わが家の内の霊舎にいるし、わが墓所に体をうずめていることからすれば、墓所と霊舎とで遊んでいるのである。この世で生きている間に、人は悪いことをしたり、神のみ心になわらないことをしたりすると、死んでからでも、魂は神のおとがめを受けるのである」と仰せられた。

……「天地は語る」第六十三条……

解説

この御理解は、ある篤信の信徒が教祖金光大神様に「宗教がたくさんあって、死んだら、真宗では西方浄土へ、神道では、高天原へ行く等と言われますが、死後、魂は、そのように分かれるのでしょうか？」とお尋ねした時、金光様は「死後、魂は、何処に行くのでもない。今まで通りに、天地の間において神様のお守りを受けるのである」とお答え下さり、重ねて「生前に悪行を重ねると、死後、おとがめを受けるから、よくよく自重するように」と、ご教示下さったとのことであります。

私たちは神様のおかげでこの世に生を享けた以上、金光大神様の仰せになるこの様な天地の道理に基づき御理解を、しっかりと感得させて頂くべく一層信心の稽古に勤しみたいものであります。